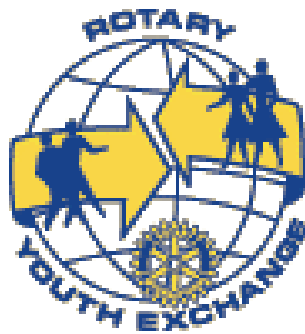


2002-2003年度

青少年交換プログラム マニュアル

【受入高校 用】



国際ロータリー第2600地区

青少年交換・ローテックス委員会

ロータリークラブ

【ロータリーの目的】

ロータリーはロータリアンにその職業の道徳的水準を高め、且つ品位あるものとするを求め、ロータリアン全てがその個人生活、事業生活、および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること、そして奉仕の理想に結ばれた世界中のロータリアンの親交によって、国際間の理解と親善と平和を推進することを要請している。「奉仕の理想」の考え方は、次の二つのモットーによってよく現されている。即ち「超私の奉仕」および「最もよく奉仕する者、最も多く報われる者」の二つである。

【ロータリーの誕生】

1905年アメリカ・シカゴで、青年弁護士 ポール P.ハリスが、3人の友人と語らって、2月23日に第1回の会合を開いたのが、ロータリークラブの誕生です。その後ロータリーは世界中に広まり、現在では162の国家に広められ、30,149クラブ、会員総数1,188,492(2001年6月末)にまで達し、さらに拡大しています。

【ロータリーの名称】

ロータリーとは会員が持ち回りで順番に、集会を各自の事務所で開いたことから名付けられました。

【国際ロータリー】

ロータリークラブをメンバーとして、国際ロータリーが組織・運営されています。国際ロータリーの最近の主要事業としては、地球上からポリオやその他の伝染病をなくすため、約2億4,100万ドルを拠金、全世界の児童の予防接種を進めています。また、ロータリー財団を設けて、世界有数の国際奨学金事業を実施しています。

【日本のロータリー】

1920年(大正9年)10月20日、当時三井銀行の重役であった米山梅吉氏が、初めて東京に「東京ロータリークラブ」を設立し、翌大正10年4月1日、世界で855番目のクラブとして加盟承認された。現在では、北は北海道から、南は沖縄まで、2,284クラブ、会員数122,693に達しています。(00年2月末現在)日本のロータリーでは「財団法人・ロータリー米山記念奨学会」を設立し、日本で勉強する外国人留学生を援助しています。

【ロータリアン】

ロータリークラブの会員を「ロータリアン」と呼びます。会員は地域内の理想に燃える堅実な実業家、専門職業人の中から、定款により1業種1人を選び、クラブを構成しています。

【スポンサーロータリークラブ】

交換留学生として推薦してくれるロータリークラブをスポンサーロータリークラブといいます。

【ホストロータリークラブ】

留学生を受け入れてお世話をしてくれるロータリークラブを、ホストロータリークラブといいます。またはホストクラブといいます。

【地区 (District)】

私達長野県内の地区番号は[2 6 0 0]で正式名称は「国際ロータリー第 2 6 0 0 地区」です。現在地区内に 5 8 のロータリークラブが集まり、この地区を構成しています。

【地区青少年交換・ローテックス委員会】

地区には青少年交換プログラムを推進する「地区青少年交換・ローテックス委員会」が設置されています。(以下、このマニュアルでは地区委員会と呼びます)地区委員会は海外地区委員会との連絡やオリエンテーション等を実施します。

プログラムの要旨

【プログラムの正式名称】

国際ロータリー第2600地区青少年交換プログラム といいます。
通常、「ロータリー青少年交換プログラム」と略します。

【プログラムの内容】

このプログラムは、高校生のための1学年間の交換留学プログラムです。主催及び責任団体は、ロータリークラブです。交換留学生の滞在費や学費は、留学生を引き受けるホストロータリークラブが負担します。留学生は留学先ではホームステイをします。ロータリーの交換プログラムはロータリークラブ会員（ロータリアン）のボランティアで運営されています。経験豊富なロータリアンが、このプログラム実施のために多くの時間と労力を奉仕していますし、世界では73年前の1929年から日本では41年前より始められたこの留学プログラムにより、当地区内では来日と派遣を合わせて延べ400人以上の高校生が参加しています。

【プログラムの目的】

ホームステイや学校生活を通して、お互いの文化や習慣を体得させます。言葉や文化、習慣の全く異なる外国での生活を体験することにより、それらを理解し、国際感覚を身につけ、将来の世界平和と国際理解に役に立つようにということをロータリーは願っています。

【留学生の使命】

留学生に課せられた使命は日本と外国との間に「友情の架け橋」を築くことです。留学先の文化や習慣を体験するだけでなく、自国を紹介しなければならない義務もあります。留学生は自国を代表する「民間親善大使」となります。

【受入と派遣】

このプログラムは交換を目的としていますので、留学生を派遣する学校に来日してくる留学生の受入をお願いすることもあります。しかし留学を希望する学生が見つからない場合等、受入だけをお願いすることもあります。留学生を受入れたことで、翌年派遣を希望する学生が増したという例もあります。

【ロータリー青少年交換プログラムの特徴】

ロータリー青少年交換プログラムは他の諸団体が実施しているプログラムと違ってボランティア団体が運営しているプログラムです。ですから留学経費も他のプログラムに較べて、はるかに安く、実費だけで留学できます。又、受入も地域社会に密着した市町村単位のロータリークラブが、クラブ会員全員で留学生のお世話をします。安全面でも最高のプログラムといえます。

ル ー ル

ロータリーの国際ルールとして「4Dルール」が定められています。違反者は直ちに強制送還されることがあります。

【4Dルール】

1. 自動車、オートバイ、船舶、飛行機等運転の禁止 (No Driving)
2. 飲酒、喫煙の禁止 (No Drinking)
3. シングルデートの禁止 (No Dating)
4. 麻薬、覚醒剤の所持、使用の禁止 (No Drug)

【留学中止】

ルールに違反した場合、あるいは病気、怪我、極度のホームシック、ノイローゼ等で留学途中であっても留学を取り消され、強制送還される場合があります。強制送還の決定は、関係者が十分な協議を重ねた上で行います。

留 学 生 の 派 遣

【募 集】

国際ロータリー第2600地区では毎年10名前後の派遣交換学生を募集しています。詳しくは「募集要項」をご覧ください。

【留学に必要な費用】

派遣学生は次の費用を負担します。

- 1) 往復の航空運賃 (実費、留学先によって違います)
- 2) 留学生保険 (実費10～15万円)
- 3) 制服代 (実費 約5万円) 他

また、ロータリーは次の費用を負担します。

- 1) 留学中の生活費、学校に関わる経費、小遣い (一ヶ月一万円)
- 2) オリエンテーション費用等

【選 考】

校内応募者の多い場合は学校内で選考して下さい。選考の目安として

- 1) 成績が全学年で上位3分の1以上
- 2) だれからも好かれ、生徒の間でも信望が厚くリーダー的な存在である。
- 3) 積極的であり、一年間の留学に耐え得る精神力の持ち主。

【推薦ロータリークラブ】

派遣するためには、ロータリークラブの推薦が必要です。校内推薦が決まりましたら、地域内のロータリークラブに書類を提出して下さい。地域内にロータリークラブのない場合、あるいは連絡先が判らない場合は末記の地区ガバナー事務所宛お問い合わせ下さい。お近くのロータリークラブを紹介します。

【出発までのオリエンテーション】

ロータリーではプログラムの成功と留学期間中の安全確保のための事前研修「派遣学生オリエンテーション」を出発時まで毎月開催します。派遣学生は必ず参加しなければなりません。また、オリエンテーションの一環として平日に研修旅行がありますので、ご協力をお願いします。

【現地での単位取得】

留学期間中の単位取得は可能です。成績証明書を現地受入高校から発行してもらえます。（留年させるか進級させるかは、学校と留学生で相談して下さい。）

【留学中の生活】

留学期間中、3～4ヶ所の家庭にホームステイします。滞在費、学校に掛かる経費はホストロータリークラブが負担してくれますし、また、毎月小遣いが支給されます（1ヶ月1万円前後）。留学期間中はホストロータリークラブが責任を持ってお世話してくれます。

留学生の受入れ

【留学生のホストスクール】

留学生を派遣することは、派遣をする日本側から見れば、一人の留学生に対する効果しか期待できません。しかし、来日してくる留学生を1学年間ホストする事は、日本の高校生にとっても素晴らしい経験と強烈なインパクトを与えます。ロータリーでは出来るだけ多くの県内の高校生に、身近な国際体験をして頂くため、来日学生を受け入れてくれる高等学校を広く募集しています。

【スクールカウンセラーの選任】

校内での交換学生のカウンセリングをお願いする、スクールカウンセラーの先生を一人選任して下さい。スクールカウンセリングには、ロータリークラブのカウンセラー、ホストファミリーとも連絡を取り合い、このプログラムを有意義で且つ安全なものにするために、ご協力を頂くことになります。

【スクールカウンセラー会議】

事前にスクールカウンセラーの打合せ会議を開催したいと思います。案内がいきましたら是非ご出席下さい。

【ロータリークラブのカウンセラー】

来日学生をホストするロータリークラブにも、クラブカウンセラーを1人つけます。トラブルの発生や緊急時には、クラブカウンセラーが関係者と連絡調整を取り、解決に全力を尽くします。

【受入の時期と期間】

北半球の留学生

通常8月中旬に来日してきます。従って北半球の留学生は2学期から、翌年の1学期終了までお願いすることになります。

南半球の留学生

1月中旬に来日します。1月から翌年の2学期終了までお願いします。

尚、友達を作る関係上、留学生は最初入った学年の日本の高校生と一緒に進級できるようにして下さい。

【学 年】

来日学生の年齢に合わせて学年を決めて下さい。前項でも述べたように、最初入った学年の日本の高校生と一緒に進級させてして下さい。来日留学生の中には日本で卒業を済ませた学生が来ることがあります。その時でも、日本では高校生と同じ扱いをします。日本の高校生として行動できない場合は強制送還となります。

【保 険】

留学生はそれぞれの派遣国、受入国のロータリーが指定する保険に加入しています。尚、学校の指定する保険がありましたら、ロータリークラブのカウンセラーにお話し下さい。

【登 校】

来日した交換留学生は、日本の高校生と同じように制服を着て、日本の高校生と同じように通学します。

【授 業】

少しは日本語を勉強してくる生徒もいますが、とても日本の授業にはついていきません。それでも1日中クラスに置いて、日本の高校生と同じように、出来るだけすべての授業を受講させるようにして下さい。勉強よりまず友達を作り、友情を育てることにこのプログラムの大きな目的があります。又、中間・期末テストの期間中も登校させ、違った種類の内容でもかまいませんので、試験を受けさせてください。

【クラブ活動】

クラブ活動には積極的に参加させるようお願いいたします。本人の得意な分野はもちろん、日本でしか経験できない部活もあると思いますので、アドバイスをお願いします。

【費用負担】

入学金及び授業料は、免除いただきますようお願いいたします。制服代、体操着、通学費、修学旅行の費用等はホストロータリークラブが支払います。その他、必要があれば、ロータリークラブカウンセラーにご相談下さい。

【親善使節】

このプログラムで交換される留学生は、派遣国の文化や習慣を勉強するほかに、自分の国のそれらを伝える義務も持っています。留学生はスライドやビデオ等の準備をしてきておりますので、講演等の機会があればいつでも活用して下さい。

【病気や怪我】

病気や怪我などの場合、ロータリーが対処します。

【ロータリークラブの例会・講演会】

交換学生にはロータリークラブの例会やオリエンテーション等のプログラムに参加しなければならない義務があります。その場合は事前にホストファミリー、あるいはロータリークラブから連絡を致します。

【無断欠席】

もし無断欠席するようなことはあれば、直ちにホストファミリーと連絡を取り合い、ロータリークラブのカウンセラーに報告願います。不登校の場合は強制送還します。

【説明会】

このプログラムに関して、皆様から要望があれば、説明会・勉強会等をいつでも開催いたします。地区委員会から担当者を派遣しますので、ご連絡下さい。

ご質問お問い合わせは下記までどうぞ。

国際ロータリー第2600地区
青少年交換・ローテックス委員会
2002-03年度委員長 小山 陽三（上田東RC）

〒386-0002 上田市住吉397-8

TEL：0268-22-3782

FAX：0268-27-3231

携帯電話：090-3147-2516

E-mail: yozo@koyama.jp